

【ことはならない】

【Vことはならない】

- (1) 昔は女性がこの祭りに参加することはならないとされていた。
- (2) <厳しい父親が娘に>だめだ。あんな男と結婚することはならん。おまえはだまされているんだ。おとうさんはぜったいにゆるさない。
- (3) こどものころ、本や新聞をまたぐことはならぬとよくおじいさんにしかられたものだ。

「してはならない」という禁止の意味を持つ。「ならん・ならぬ」の形もある。古めかしい言い方。

【このたび】

- (1) この度はご結婚おめでとうございます。
- (2) <あいさつ>この度、転勤することになりました。
- (3) この度、会長に選ばれました佐々木でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

「今回は」の意で、改まった挨拶などで使われる。

【このぶんでは】

→【ぶん】③

【このように】

- (1) このように、日本人の食生活は、時代とともに変化してきている。
- (2) このように、携帯電話は、もはや必需品となっているのです。

前に述べたことを指して、そこからのまとめを述べるときに用いる。書き言葉的。話し言葉では講演、ニュースなど、改まったスタイルで用いられる。

【こむ】

【V_R-こむ】

- (1) ここに名前を書きこんでください。
- (2) かばんに本をつめてこんで旅にでかけた。
- (3)トラックに荷物を積みこむの手伝った。
- (4) その客は家にあがりこんで、もう5時間も帰らない。
- (5) 日本の社会に溶け込むことと自分の文化を見うしなわないことは両立するのだろうか。
- (6) 人の部屋に勝手に入り込まないでくれ。
- (7) 友達と話し込んでいたらいつのまにか朝になっていた。
- (8) サルに芸を教え込むことと子供を教育することとの違いが分かっていない教師がいる。
- (9) 部屋の片隅に座り込んで、じっと考え事をしている。

(1)～(3)のように「なにかの中に入れる」という意味の他動詞を作ったり、(4)～(6)のように「なにかの中にはいる」という意味の自動詞を作ったりする。また、(7)～(9)のように「徹底的に／じゅうぶんに...する」という意味の動詞を作るのに用いる。

【ごらん】^{N4}

- (1) どうぞ、ご自由にごらんください。
- (2) ごらん、つばめがやってきた。

- (3) <親が子供に>ひとりでやってごらん？ ここで見てあげるから。
- (4) <親が子供に>こどもはいくらかな？ 駅員さんに聞いてきてごらん？

「見る」の尊敬語。(1)のように「ごらんください」の形で、「見てください」の尊敬表現として使う場合や、(2)のように「見なさい」の上品な言い方(「ごらん」は「ごらんなさい」をみじかくしたもの)として使う場合や、(3)(4)のように「ごらん」の形で、子供などに対して主に使う場合がある。「見る」の尊敬語ではあるが、「...しなさい」と命令する表現なので、目上に対しては使わない。

【これだから...のだ】

- (1) え、仕事を始めて1週間で辞めた？ これだから、最近の若い者は困るんだよ。
- (2) このピザもパスタもお手製ですか？ これだから、田中さんのパーティーは楽しみなんだよね。

前に述べたことを受けて、そのことがらを根拠として評価的なことを述べるのに用いる。自分の持っている評価について、それを改めて正当化する働きがある。話し言葉的。

【これだと】

- (1) これだと、ちょっと困るんですけど。
- (2) これだと、まだ解決には遠いようですね。
- (3) これだと、人には薦められません。
- (4) これだと、目的地に到着するまでまだ2～3時間かかりそうだ。

「これでは」と同じ。

→【これでは】

【これでは】

- (1) これでは、生活していきません。
- (2) これでは、問題の解決になっていない。
- (3) 君の作文は誤字が多すぎる。これでは、試験にパスしないだろう。
- (4) <高速道路の渋滞を見て>これでは目的地に到着するまで、2～3時間はかかりそうだ。

「この状況では・この条件では」の意味で、あとにあまりよくないという判断や予測を述べることが多い。

【これといって】

→【とって】③

【さあ】^{N5}

① さあくうながし<

- (1) さあ、いこう。
- (2) さあ、いそいで、いそいで。
- (3) さあ、がんばるぞ。
- (4) さあ、春だ。
- (5) さあ、ごはんができたぞ。

聞き手をうながしたりさそったりするときを使う。(3)のような場合は自分自身を上げしている。(4)(5)のような場合には(1)～(3)のようなうながし・さそい・はげましなどの機能がかくされており、「さあ、春だ。がんばるぞ」「さあ、ごはんができたぞ。食べよう／食べなさい」のように言うこともできる。(3)の用法以外で、状況だけで意味がつづる場合は「さあ」だけでもよい。

② さあく考慮<

- (1) A：あの人、だれ？
B：さあ（、知りません）。
- (2) A：これから、どうする？
B：さあ、どうしようかな。